

# 令和6年度 第1回 危険物取扱者試験 試験案内

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により新潟県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。申し込まれた方は、試験案内に記載されているすべての事項に同意されたものとみなさせていただきます。

一般財団法人

消防試験研究センター新潟県支部

〒950-0965 新潟市中央区新光町10番地3

技術士センタービルⅡ7階703号

TEL 025-285-7774 FAX 025-211-7011

ホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp>

書面申請に関する問合せ先 TEL 025-285-7774

電子申請に関する問合せ先 TEL 0570-07-1000

## 1. 試験日、受付期間、試験の種類、試験手数料、受験地及び合格発表予定日

回	試験日	受付期間 (電子申請・書面申請共通)	試験の種類	試験手数料	受験地	合格発表 予定日
第1回	令和6年 6月1日(土)	4月11日(木) ～ 4月26日(金)	甲種 乙種第1～6類 丙種 (全種全類実施)	甲種 6,600円 乙種 4,600円 丙種 3,700円	新潟市 長岡市 上越市 三条市 佐渡市	6月21日(金)

- (注) 1 郵送の場合は、願書に不備がない限り締切日の消印（郵便切手に押されるスタンプ）のあるものまで受け付けます（消印有効）。  
2 電子申請の受付時間は24時間ですが、受付開始日は9時から開始し、受付最終日の23時59分に申請手続きが完了している受験申請が有効となります。  
3 電子申請と書面申請の受付期間が、令和6年度から同一日となりました。

## 今後の予定

回	試験日	試験の種類	〈試験手数料改定のお知らせ〉 危険物取扱者試験の試験手数料が改定され、令和6年5月1日以後の申請分から改定後の手数料の額を納付していただくこととなります。ご注意ください。 なお、ご不明な点がございましたら、当センター新潟県支部電話番号（025）285-7774までお問合せください。
第2回	9月1日(日)	甲種 乙種第1～6類 丙種 (全種全類実施)	
第3回	11月23日(土・祝)		
第4回	令和7年 3月1日(土)		

## 2. 試験時間

区分	集合時間 (事前説明 開始時間)	試験時間	備考
甲種	午後1時30分	午後2時00分～4時30分	科目免除者・複数受験者については試験時間が異なります。
乙種		午後2時00分～4時00分	
丙種		午後2時00分～3時15分	

(注) 試験会場は、午後1時から入室できます。試験事前説明を開始しますので、午後1時30分までに着席してください。

試験会場にはバス・電車等の公共交通機関を利用してください。

### 3. 主な借上予定試験会場名称

※下記会場は主だった予定のものであり、また受験者は会場を選べません。

受験地	会場名	住所
新潟市	新潟県建設会館	新潟市中央区新光町7-5
	朱鷺メッセ	新潟市中央区万代島6-1
	新潟ユニゾンプラザ	新潟市中央区上所2-2-2
	コープシティ花園 ガレソンホール	新潟市中央区花園1-2-2
	新潟テルサ	新潟市中央区鐘木185-18
	新潟卸センター NOCプラザ	新潟市東区卸新町2-853-3
長岡市	パストラル長岡	長岡市今朝白2-7-25
	長岡商工会議所	長岡市表町3-1-8
	アトリウム長岡	長岡市弓町1-5-1
上越市	上越商工会議所	上越市新光町1-10-20
	上越テクノスクール	上越市藤野新田333-2
	上越市市民プラザ	上越市土橋1914-3
三条市 (6月のみ)	燕三条地場産業振興センター	三条市須頃1-17
佐渡市 (6月のみ)	あいぽーと佐渡	佐渡市両津夷384-11

(注) 1 上記の試験会場は、あくまで予定であり確定したものではありません。

受験者の方は会場を選べません。試験会場は受験票に記載されている会場となります。

2 試験会場の多くは駐車場がないか、駐車台数に限りがあるのでバス・電車などの公共交通機関を利用してください。

なお、試験開始後、違法駐車等で警察などから車の移動指示があった場合はその退室をもって試験の終了となりますので、ご注意ください。

### 4. 書面による受験手続

受験願書に以下の書類を添付してください。

※**受験願書(全国共通)**は、当支部及び県内の各消防署で配布しています。

(1) 「甲種危険物取扱者試験」を受験する方は、**受験資格を証明する書類**(詳しくは12ページを参照)

( 過去に甲種危険物取扱者試験を受験されたことのある方については、その時の**受験票・受験票(控)**  
または**試験結果通知書**(資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。)を提出することにより受験資格の証明に代えることができます(いずれもコピー可)。

(2) 既に「危険物取扱者免状」を取得している方は、**既得免状のコピー**

(3) 乙種危険物取扱者試験の一部免除を受ける方は、**証明する免状のコピー**

(4) 丙種危険物取扱者試験の一部免除を受ける消防団員は**資格を証明する書類**(詳しくは11ページを参照)

※上記の(1)~(4)は受験願書B面裏に貼ってください。

(5) 当センター指定の「**振替払込受付証明書(お客さま用)**」(受験願書と一緒に配布しています。受験願書B面に貼ってください。)

(6) **受験願書には写真を添付する必要はありません。**(後日送付する**受験票**に貼付してください。)

## 5. 試験の種類

試験の種類	取扱いのできる危険物	
甲 種	全種類の危険物	
乙 種	第 1 類	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類などの酸化性固体
	第 2 類	硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウムなどの可燃性固体
	第 3 類	カリウム、ナトリウム、アルキルアルミニウム、黄りんなどの自然発火性物質及び禁水性物質
	第 4 類	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類などの引火性液体
	第 5 類	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物などの自己反応性物質
	第 6 類	過塩素酸、過酸化水素、硝酸などの酸化性液体
丙 種	ガソリン、灯油、軽油、重油など	

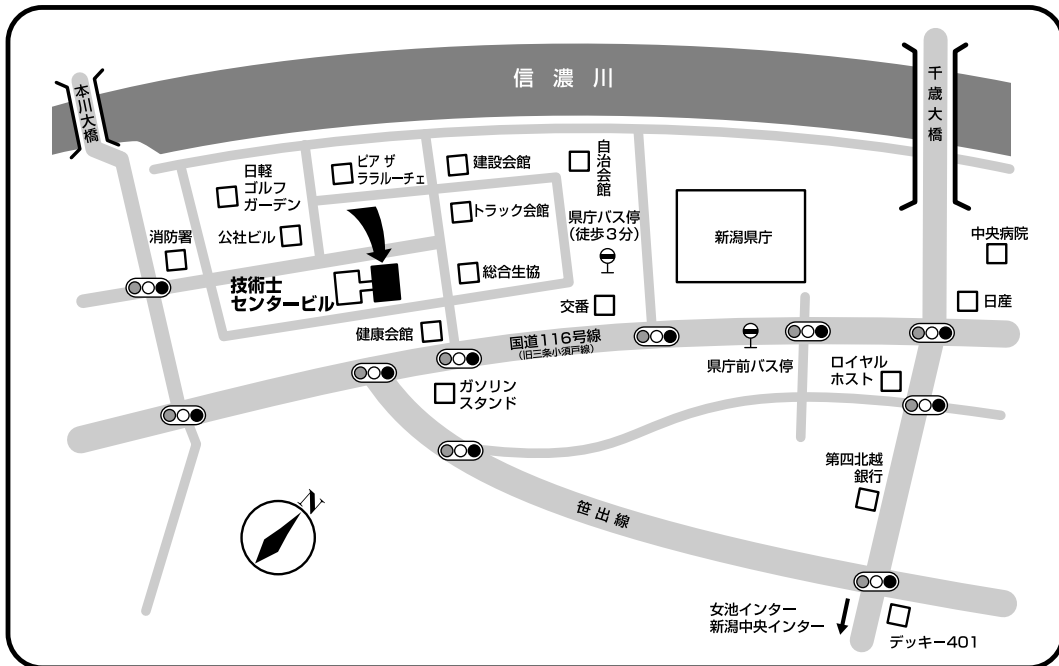
## 6. 受験願書の提出先（郵送先）及び問い合わせ先

### 一般財団法人 消防試験研究センター新潟県支部

〒950-0965 新潟市中央区新光町10番地 3 技術士センタービル II 7階703号

- (1) 受験願書は上記提出先に郵送してください。締切日の消印のあるものまで受け付けます（消印有効）。締切間際に到着した願書に不備があると受け付けません。その場合締切に間に合わないことがあるので、**受験願書は早目に提出してください。**
- (2) 当支部のお問い合わせ時間は、**平日の午前9時から午後5時まで**です。（土・日・祝日は休み）

### （一財）消防試験研究センター 新潟県支部 所在地



↓ 受験願書を送付する際の宛名として利用できます。↓  
 （切り取って封筒にのり付けしてください）

〒950-0965  
 新潟市中央区新光町10番地 3  
 技術士センタービル II 7階703号

一般財団法人  
 消防試験研究センター新潟県支部 行  
 （危険物取扱者試験願書在中）

〒950-0965  
 新潟市中央区新光町10番地 3  
 技術士センタービル II 7階703号

一般財団法人  
 消防試験研究センター新潟県支部 行  
 （危険物取扱者試験願書在中）

## 7. 試験手数料（消費税は非課税です。）

甲種：6,600円 乙種：4,600円 丙種：3,700円

（注）一旦払い込みされた手数料はお返しできません。6ページ注意事項13.(3)参照

### 書面申請 払込方法は20ページを参照してください。

試験手数料の払込みには払込手数料が必要になります。受験願書に所定の「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼付してください。

なお、乙種の複数受験をされる方は、受験件数分の試験手数料が必要です。（20ページを参照）

### 電子申請

試験手数料は、クレジットカード、ペイジー、コンビニエンスストアでの払込みをお願いします。

なお、払込みには所定の払込手数料が必要になります。

電子申請の試験手数料払込期限は、受け付けた日（仮受付完了日）の翌日から起算して3日以内です。期限内に払込みがない申請は無効となり、改めて申し込みをする必要があります。

## 8. 受験資格

- (1) 「甲種危険物取扱者試験」を受験する方は、**一定の受験資格**が必要です。詳細は12ページ21.を参照してください。
- (2) 「乙種危険物取扱者試験」・「丙種危険物取扱者試験」については受験資格は必要ありません。どなたでも受験することができます。

## 9. 試験の方法

- (1) 試験科目、問題数、試験時間については11ページ18.を参照してください。
- (2) 試験はマークシート方式の筆記とし、甲種・乙種は5肢択一式、丙種は4肢択一式で行います。

## 10. 試験当日持参するもの等

- (1) **写真をのりで貼り（セロハンテープは不可）、氏名を記入した受験票を必ず持参してください。（「受験票を持参しなかった方」及び「受験票に写真を貼っていない方」は、受験ができません。）**  
写真は、試験当日の受験者本人の確認及び危険物取扱者免状の作成に使用します。
- (2) 受験日前6ヶ月以内に撮影した正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景の上三分身像で縦4.5cm、横3.5cm又はパスポート規格の大きさ、**枠無しの鮮明な写真**を受験票に必ず貼ってください。（写真の裏に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください。）  
なお、乙種の複数種類を受験される方は、一番若い類の受験票だけに写真を貼ってください（写真は1枚でよい）。
- (3) 念のため、運転免許証や写真付きの身分証明書などを所持してください。
- (4) HB又はBの鉛筆（シャープペンシルを含む。）・消しゴムを必ず持参してください。なお、ボールペンやサインペンやマーカーなどのペンは使用できません。
- (5) 試験会場では、電卓・計算尺・テンプレート等の定規類・携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の電子機器類や腕時計の使用を一切禁止します。携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。（これらの電子機器類を時計として使用することはできません。）
- (6) **試験会場には、バス・電車等の公共交通機関を利用してください。**路上駐車又は近隣の商店等への無断駐車は、絶対にしないでください。

# 11. 受験票の通知及び写真について（重要）

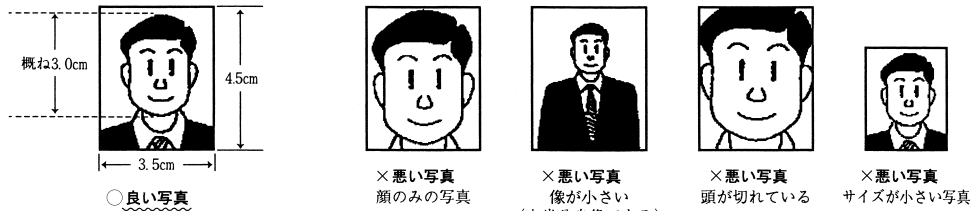
- (1) 受験票を持参しないと受験できません。
- (2) 受験票に写真を貼付していない又は貼付写真が不鮮明な場合には受験できません。
- (3) 受験票に記載されている試験日、試験種類、試験会場及び科目免除の一部科目免除の内容により試験を行いますので記載内容を必ず確認してください。
- (4) 受験票の送付方法  
試験日の概ね10日前までに普通郵便の圧着ハガキで郵送します。試験日の3日前までに届かない場合は、お問い合わせください。

## 【書面申請者用受験票】 ※受験票はイメージです。

危険物取扱者試験 受験票（控）				危険物取扱者試験 受験票							
受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-weight: bold; margin-right: 10px;">切 り 取 り 線</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>写 真</b>            縦4.5cm×横3.5cm   <small>写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載 6ヶ月以内に撮影したもの (正面、無帽、無背景の上三分身像又はパスポート規格) しっかりとり付けてください。 (セロハンテープ不可)</small> </div> </div>							
カナ氏名	ショウホウ タロウ							受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
氏名	消防 太郎							カナ氏名	ショウホウ タロウ		
試験日時	令和06年06月01日 [1/1] 13時30分集合 14時00分試験開始							氏名	受験者氏名を「かき書」で記入してください。		
試験会場	新潟ユニゾンプラザ4階大研修室 新潟市中央区上所2-2-2  駐車区域以外の違法駐車は厳禁です。車の移動の場合は途中退室となり試験は終了です							試験日時	令和06年06月01日 [1/1] 13時30分集合 14時00分試験開始		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00					試験会場	新潟ユニゾンプラザ4階大研修室 新潟市中央区上所2-2-2		
既得免状				免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00				
<small>注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。 受験票裏面の注意事項をよくお読みください。</small>				1514270320010E100017 免なし 001-11-1 00001 <b>試験当日、この受験票は回収します。</b>							

### ○写真1枚

受験日前6ヶ月以内に撮影した正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景の上三分身像で縦4.5cm、横3.5cm又はパスポート規格の大きさ、枠無しとし、鮮明なもの（裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください。）を1枚準備して、受験票に貼ってください。デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明なものとしてください。



### ※不適当な写真の例 次のような写真は不適当な写真となり、受験はできません。

- ① 写真がぼやけていたり暗くて不鮮明な写真
- ② 顔のみの写真や顔全体が写っていない写真（頭の部分やあごが切れている）
- ③ 像が小さくて顔が小さい写真
- ④ 帽子、ヘアバンド等で頭部が隠れている写真（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）
- ⑤ サングラスやメガネが反射して人物を特定できない写真
- ⑥ 前髪が長すぎて、目元が見えない写真
- ⑦ 規定のサイズ（縦4.5cm、横3.5cm）を満たしていない写真
- ⑧ 写真をカラーコピーしたものや普通紙に印刷したもの

## 12. 複数種類を受験する場合の手続き（書面申請のみ）

- (1) 既に乙種免状を持っている方は、同じ時間帯に他の乙種の試験を3種類まで受験できます。この場合、**受験願書は受験種類毎に作成し、いっしょに提出してください。**  
ただし、**乙種第4類を含む複数受験はできません。**  
〔例示〕乙種第4類の免状を持っている方は、乙種第1類、第2類と第3類を同時に受験できます。この場合受験願書は3種類作成し、乙種免状のコピー1部を添えて、一括提出してください。  
また、試験時間は試験科目の一部免除により、 $35分 \times 3 = 1時間45分$ となります。
- (2) **乙種免状を持っていない方の乙種複数受験は実施しません。**
- (3) 電子申請では同一試験日に1種類のみを受験申込みとなりますので、複数種類の受験を希望する場合は書面により申請を行ってください。

## 13. 受験上の注意事項

- (1) **締切日を過ぎた受験願書**や記載事項等に著しい不備のある受験願書、「**振替払込受付証明書（お客さま用）**」を貼付していない**受験願書は受理できません。**この場合は受験申請書類を返却し、返却費用は受験者負担となります。
- (2) 受験のために提出し、センターで受理した受験申請書類（各種証明書類）は、一切お返しできません。
- (3) **各試験の受験申請後の受験取消し及び受験手数料の返金はできません。**  
また、**受付締切日（電子申請は受付完了）以降は、「試験日」及び「受験地」の変更はできません。**
- (4) 受験願書提出後、住所変更等があった場合は、速やかに当支部へご連絡ください。
- (5) 試験会場には、問い合わせの電話はしないでください。
- (6) **台風、大雪、地震、その他特別な事情により、試験日程や試験会場の変更等緊急のお知らせがある場合には、おおむね2時間前までにホームページ（携帯情報を含む）に掲示します。**
- (7) 試験に欠席する旨の事前の連絡は必要ありませんが、欠席の場合、結果通知書は郵送されません。  
また、次回以降受験される時には、再度受験手続きをしてください。
- (8) （一財）消防試験研究センターは試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書の販売は、一切行っておりません。

## 14. 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60パーセント以上であること。（試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。）

なお、乙種第1類又は第5類の受験者（火薬類免状所有者）及び丙種の受験者（消防団員）であって、11ページの19. 20. により試験科目の一部が免除された方については、当該免除された試験科目の問題を除いた後での試験科目の問題の成績が60パーセント以上であること。

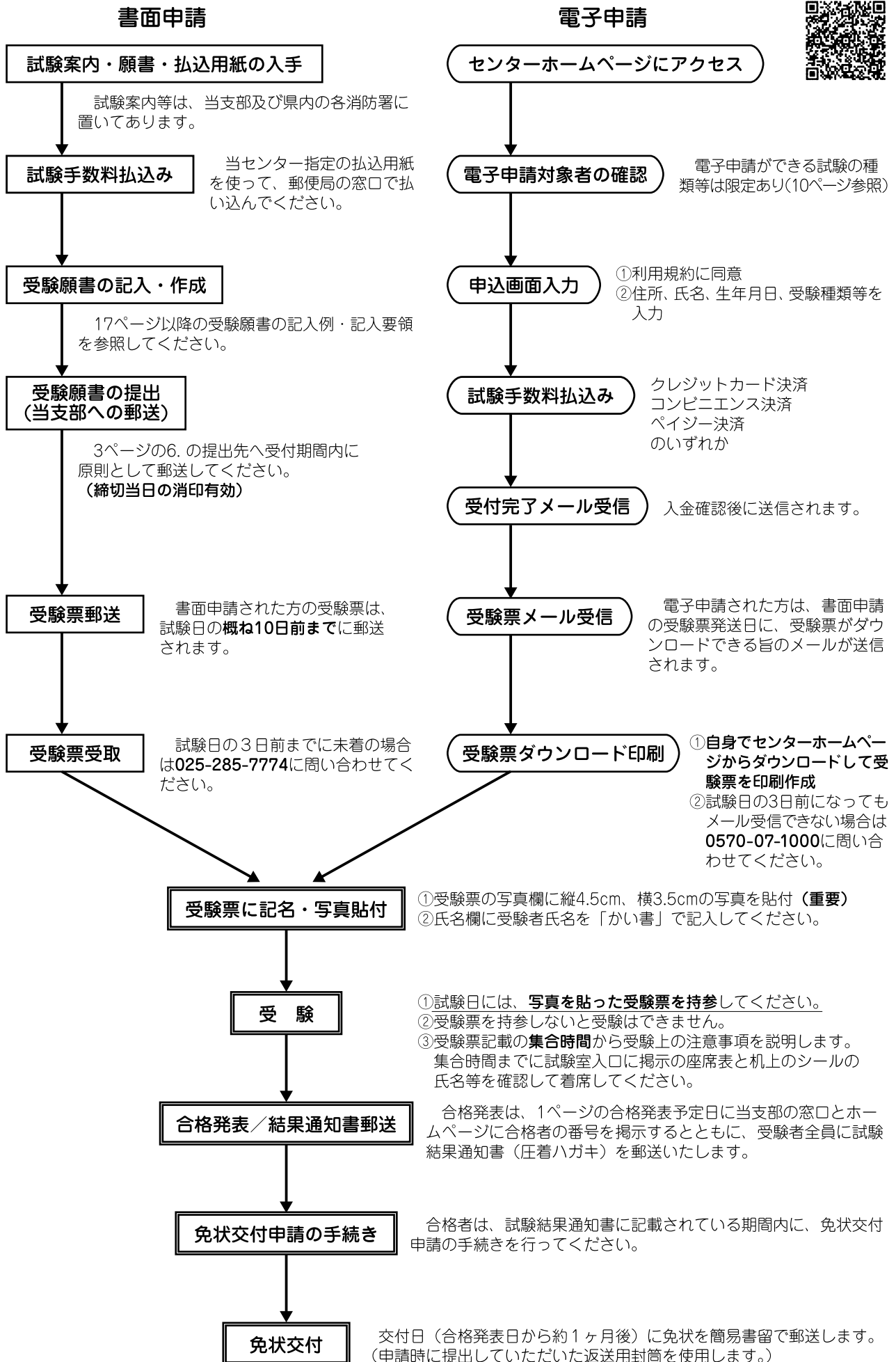
## 15. 合格発表

合格発表は、1ページ1. の日程のとおり予定しております。発表日は、午前9時から当支部の窓口で、正午からはホームページにそれぞれ合格者の受験番号を掲示します。また、受験された方全員に圧着した郵便ハガキで合否の結果を直接通知します。

電話による合否及び採点結果等の問い合わせには、一切応じられません。

**なお、消防試験研究センター以外で合格通知を発送（又は発表）することはありません。**

## 16. 受験願書の入手から免状交付までの流れ



## 17. 合格後の免状交付申請の手続き

### (1) 申請の方法

合格された方は、指定された締切日（試験結果通知書に記載）までに次の書類等を当支部へ提出（原則として郵送）してください。郵送は通常郵便で支障ありません。

（次ページ②の宛名が利用できます。→）

### (2) 提出する書類等

#### ア 免状交付申請書及び結果通知書

記載事項（氏名、住所、本籍地、生年月日等）に誤りがないか確認し、申請者氏名等を署名の上で提出してください。

なお、記載された内容に訂正がある場合は、**赤字で訂正**してください。

**結果通知書は切り離さないでください。**

※免状が交付された後に氏名等の変更があった場合は、別途、申請が必要となり手数料がかかります。

#### イ 交付手数料

2,900円分の新潟県収入証紙（新潟県内に本店のある地方銀行等で販売）を申請書の裏面に貼ってください。（収入印紙ではありません。）

※複数合格者の方や会社等でまとめて複数人の申請をするときでも、新潟県収入証紙は、**各申請書に2,900円ずつ**貼付してください。（まとめて合計額を1枚の申請書に貼らないでください。）

※県外の方は「現金書留」で現金を送付するか、又は郵便局で「為替」を購入して送付してください。（為替は、購入した証明として受領証書又は半券がお手元に残ります。）

※令和6年8月31日で新潟県収入証紙販売が終了しますので、結果通知書受領後速やかに免状交付申請の手続きを行ってください。

#### ウ 既にお持ちの危険物取扱者免状

既に、他の種類の危険物取扱者免状を持っている方は、新しい免状に併記しますので、提出してください。

※1 免状をなくされた方は、別途、免状の再交付申請が必要となります。

※2 免状の氏名や本籍の都道府県に変更のある方は、別途、書換え申請が必要となります。

※3 合格後の免状交付申請をされるときには、原則として免状の提出が必要ですが、**タンクローリー（移動タンク貯蔵所）に日常乗車している等で法令の規定により常時免状の携帯が義務付けられている方**に限り、免状交付申請書に免状の両面コピーを添付し、提出してください。新しい免状を受け取りましたら、古い免状を「新潟県防災局消防課」へ送付してください。

送付先：〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1 新潟県防災局消防課

#### エ 新しい免状を返送するための封筒（次ページ①の宛名が利用できます。→）

定形封筒（長さ14～23.5cm 幅9～12cm）に申請者の住所・氏名を記入し、**簡易書留郵便料金分**（令和6年3月1日現在は434円です。）の切手を貼ってください。

（普通郵便封筒やレターパック、料金後納郵便・料金受取人払郵便封筒を送られても受付できません。）

※複数合格者の方は返送用封筒1通で良いです。（1枚の免状になります。）

#### オ 免状交付予定日等

試験日	令和6年6月1日(土)
合格発表予定日	6月21日(金)
免状申請期限（必着）	7月4日(木)
免状交付（発送）	7月25日(木)

**免状を取得された方は免状の交付日から10年毎に書換えをしてください。**



※試験合格後の免状交付申請の際に下の①・②のラベルが利用できます。

①返送用封筒貼付用

(あなたあてに送付用)

必ず免状を受け取りできる住所(自宅・勤務先等)と氏名を記入してください。(「様」は消さないでください)

✕ キリトリ

簡易書留郵便  
料金分の  
郵便切手を  
貼って  
ください。  
(令和6年  
3月1日  
現在は  
434円  
です。)

--	--	--	--	--	--	--

府都  
県道

郡 区 市

簡易書留

様

(新規作成免状在中)

一般財団法人 消防試験研究センター  
新潟県支部

〒950-0965  
新潟市中央区新光町10-3  
技術士センタービルⅡ7階703号  
TEL (025) 285-7774

②交付申請封筒貼付用

(センターあてに送付用)

✕ キリトリ

郵便料金を  
確認して切  
手を貼って  
ください。

9	5	0	0	9	6	5
---	---	---	---	---	---	---

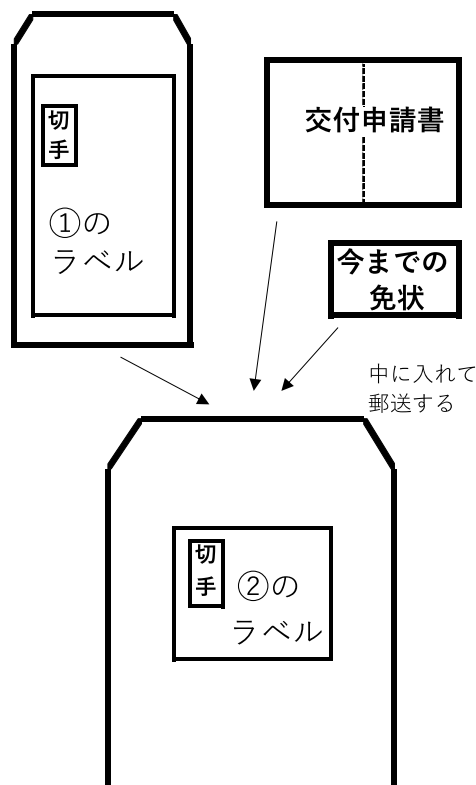
新潟市中央区新光町10-3  
技術士センタービルⅡ7階703号

一般財団法人  
消防試験研究センター  
新潟県支部 行

(申請書・返送用封筒・旧免状在中)

※免状の交付申請書を郵送される時、切り取って封筒にのり付けしてください。

※免状交付申請書送付のイメージ



※封筒の裏に受験番号を記入してください。

(2種類以上合格された方は、それぞれの受験番号を書いてください。)

※センターが作成した新免状をあなたに郵送するための封筒です。

切り取って、返送用封筒(長さ14 ~ 23.5cm 幅9~12cmの定形封筒)にのり付けしてください。

## 【参考】

### 電子申請（インターネットによる受験手続）の場合

電子申請（インターネットからの受験申請）については、当センターのホームページに詳細な利用方法や、Q&Aが掲載されていますので、電子申請に当たっては、必ずこれをご確認の上お申込みください。

電子申請に関するトラブル等の問い合わせは下記までお願いします。

（一財）消防試験研究センター 電子申請室

専用電話 0 5 7 0 - 0 7 - 1 0 0 0 受付時間 9 : 00 ~ 17 : 00（土日・祝日を除く。）

（一財）消防試験研究センターホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp>



下記のような方は、電子申請ができます。これ以外の方は書面申請をお願いします。

甲 種…… 4種類以上の危険物取扱者乙種免状による受験資格を適用して受験する方。

（4種類以上の乙種免状…乙種第1類又は第6類、第2類又は第4類、第3類、第5類）

乙種・丙種……各種証明書類が不要な方。

（はじめて火薬類免状による科目免除を希望する方と消防団員による科目免除を希望する方は申請できません。）

再 受 験……過去3年以内に受験したことがある方で、同じ試験種類と受験内容の試験を再受験する方。

（一度受付しているので証明書類は不要ですが、その時の受験票（控）又は結果通知書が電子申請の入力に必要ですのでご注意ください。）

（注）電子申請ができる試験種類は1種類のみです。複数受験はできません。

（2種類以上受験する方はすべて書面申請をお願いします。）

#### ※企業・団体で一括受験申請（団体受験）する場合の取扱い

毎回、一定数以上の受験申請者が見込まれることにより、団体で一括電子申請したい場合は、事前に支部（TEL 0 2 5 - 2 8 5 - 7 7 7 4）にご連絡ください。

電子申請締切後、申請時に登録した電子メールアドレスに、試験日の概ね10日前までに受験票がダウンロードできる旨のメールが送信されます。試験日の3日前までに未着の場合は、お問い合わせください。受験者本人が受験票をダウンロードして印刷し、試験日当日、必ず持参してください。

### 【電子申請者用受験票】 ※受験票はイメージです。

注意事項		危険物取扱者試験 受験票																													
<p>1 次の場合は受験することができません。 (1) 受験票がない場合 (2) 受験票に写真を貼っていない場合 (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合</p> <p>2 受験票に記載している集合時間までに入室してください。 3 受験票、鉛筆（B又はHB）、消しゴムを持参してください。 4 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。 6 本人確認のため、身分証明書（運転免許証等）の提示をお願いします。 7 電話による合否の問い合わせには、応じられません。 8 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。 9 試験日時を変更する場合には、当センターのホームページに新潟県支部からの緊急情報又は重要お知らせとして提示します。 10 指定された場所以外は喫煙できません。 試験会場によっては全面禁煙のところもあります。 11 試験会場には、バス・電車等の公共交通機関を利用してください。 12 試験会場は、13時から入室できます。 （特定高校試験を除く。） 13 集合時間から事前説明を開始するので、遅れないでください。なお遅刻者は、入室を一時待機させることがあります。</p> <p>（一財）消防試験研究センター 新潟県支部 〒950-0905 TEL 025-285-7774 新潟県新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ7階</p>		<p>山折りし、この折り目から切り取ってください。</p> <p>写真 縦4.5cm×横3.5cm 写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載 6ヶ月以内に撮影したものを（正面、無紺、無背景の上三分身像又はパスポート規格）しっかりとのり付けてください。（セロハンテープ不可）</p> <table border="1"><tr><td>受験番号</td><td>E1-0002</td><td>試験の種類</td><td>乙種第4類</td></tr><tr><td>カナ氏名</td><td colspan="3">ニガタ サブ ロウ</td></tr><tr><td>氏名</td><td colspan="3">受験者氏名を「仮名書」で記入してください。</td></tr><tr><td>試験日時</td><td colspan="3">令和06年06月01日 [1/1] 13時30分集合 14時00分試験開始</td></tr><tr><td>試験会場</td><td colspan="3">新潟ユニオンプラザ4階大研修室 新潟市中央区上所2-2-2</td></tr><tr><td>免除科目</td><td>免除科目なし</td><td>資格判定コード</td><td>01</td></tr><tr><td>既得免状</td><td colspan="3"></td></tr></table> <p>1514270320010E100025 免なし 001-11-1 00002 試験当日、この受験票は回収します。</p>		受験番号	E1-0002	試験の種類	乙種第4類	カナ氏名	ニガタ サブ ロウ			氏名	受験者氏名を「仮名書」で記入してください。			試験日時	令和06年06月01日 [1/1] 13時30分集合 14時00分試験開始			試験会場	新潟ユニオンプラザ4階大研修室 新潟市中央区上所2-2-2			免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01	既得免状			
受験番号	E1-0002	試験の種類	乙種第4類																												
カナ氏名	ニガタ サブ ロウ																														
氏名	受験者氏名を「仮名書」で記入してください。																														
試験日時	令和06年06月01日 [1/1] 13時30分集合 14時00分試験開始																														
試験会場	新潟ユニオンプラザ4階大研修室 新潟市中央区上所2-2-2																														
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01																												
既得免状																															

## 18. 試験種類・試験科目・問題数及び試験時間

試験種類	試験科目	問題数	合計	試験時間
甲種	① 危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間 30分
	② 物理学及び化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙種 （第1類～6類）	① 危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙種	① 危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間 15分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

〔注〕乙種危険物取扱者試験は第1類から第6類までの類別ごとに行います。

## 19. 乙種危険物取扱者試験の科目免除

既に乙種危険物取扱者免状を有する方は、法令・物化の全部を免除します。また、第1類若しくは第5類の受験者で火薬類免状を有する方は、**その旨を申請することにより**、物化の一部、性消の一部を免除します。

乙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については下表のとおりです。

免除資格者	免除類別	試験科目（略称）	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全類	①法令	全部免除	0問	10問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消		10問		
火薬類免状を有する、科目の一部免除申請者	第1類 第5類	①法令		15問	24問	1時間30分
		②物化	一部免除	4問		
		③性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	①法令	全部免除	0問	5問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消	一部免除	5問		

〔注〕試験科目はこのページ18.の表を参照してください。

火薬類免状とは、次の免状をいいます。

- ◇甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）
- ◇甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

## 20. 丙種危険物取扱者試験の科目免除

丙種危険物取扱者試験を受ける方で、5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育を修了した方、又は専科教育の警防科を修了した方は、燃焼及び消火に関する基礎知識を免除します。

丙種危険物取扱者試験における試験科目免除及び添付証明書については、下表のとおりです。

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち基礎教育を修了した方、又は専科教育の警防科を修了した方	危険物に関する法令	なし	10問	20問	1時間
	燃焼及び消火に関する基礎知識	全部免除	0問		
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	なし	10問		
証明書類	消防団員歴は消防団長が発行する証明書（原本）及び消防学校の教育修了証（コピー可）				

## 21. 甲種危険物取扱者試験の受験資格

次表に示す対象者に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

対象者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称	提出する証明書類
〔1〕 大学等において化学に関する学科等を卒業した方（専門職大学の前期課程を修了した方） （13ページの別表1参照）	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 ----- 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校の専攻科、中等教育学校の専攻科 ----- 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 専門職大学の前期課程を修了	大学等卒	卒業証明書（原本） 又は 卒業証書（コピー） （学科等の名称が明記されているもの）
〔2〕 大学等において化学に関する授業科目を通算して15単位以上修得した方 （14ページの別表2参照）	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校（高等専門学校は専門科目に限る）、大学院、専門職大学院、専修学校	15単位	単位修得証明書（原本） 又は 成績証明書（原本） （修得単位が明記されているもの）
大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 （14ページの別表2参照）	大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 ----- 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等		
〔3〕 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱者免状（コピー）及び乙種危険物取扱実務経験証明書（原本） （様式願書B面裏）
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ○第1類又は第6類   ○第2類又は第4類 ○第3類               ○第5類	4種類	乙種危険物取扱者免状（コピー）
〔4〕 修士・博士の学位を有する方 （13ページの別表1参照）	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方（外国の同学位も含む。）	学位	学位授与証明書・修了証明書（原本） 又は 学位記・修了証書（コピー） （学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの）

- 〔注〕 1 〔1〕の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。
- 2 〔1〕、〔2〕の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。（ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です。）
- (1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
- (2) 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面（16ページの書式例1を参照してください。）
- 3 〔2〕の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。
- また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。
- 4 〔2〕「単位修得証明書」は、16ページの書式例2を参照してください。
- 5 〔3〕の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主又は実務部署の責任者等の証明書です。受験願書のB面裏の様式を使用して作成してください。
- 6 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業生及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 7 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の**受験票・受験票（控）又は試験結果通知書**を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます（コピー可）。
- 8 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

# 別表 1

## 化学に関する学科等の例

1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程  
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)

2 次の表に示す学科又は課程等  
(次表の学科又は課程等の名称と異なる場合は、事前に当センター新潟県支部にお問い合わせください。)

化学に関する学科又は課程等の名称			
ア	安全工学科	サ	材料学科
イ	医療薬学科		材料機能工学科
工	衛生薬学科		材料工学科
オ	応用原子核工学科		材料物性学科
	応用生物科学科		材料物性工学科
	応用生物工学科		材料プロセス工学科
	応用生命科学科	シ	色染工芸学科
	応用生命工学科		資源工学科
	応用微生物工学科		資源素材工学科
カ	環境生命科学科		システム量子工学科
	環境物質工学科		食品科学科
	環境マテリアル学科		食品学科
キ	基礎理学科		食品工学科
	機能高分子学科		食品工業科学科
	機能高分子工学科		食料科学科
	機能材料工学科		森林資源科学科
	機能物質科学科	セ	製剤学科
	機能分子工学科		製糸学科
	金属加工工学科		製造薬学科
	金属学科		生体機能応用工学科
	金属工学科		生体物質工学科
	金属材料学科		生体分子工学科
	金属材料工学科		生物応用工学科
ケ	原子工学科		生物機能工学科
	原子力科		生物工学科
	原子力工学科		生物資源科学科
	原子炉工学科		生物資源利用学科
コ	工業材料科		生物生産科学科
	厚生薬学科		生物分子科学科
	高分子学科		生物薬学科
	高分子工学科		精密素材工学科
	高分子材料工学科		精密物質学科
サ	材料開発工学科		生命理学科
	材料科学科		製薬学科
	材料科学工学科		繊維工学科
	材料加工工学科		繊維高分子工学科
		ソ	総合薬学科
			総合薬品科学科
			素材工学科
		ト	塗装科
		ハ	醗酵(発酵)工学科
			醗酵(発酵)生産学科
		フ	物質科学科
			物質科学工学科
			物質工学科
			物質生物科学科
			物質生物工学科
			物質生命工学科
			物質生命システム工学科
			物質分子科学科
			物質分子学科
			物質理工学科
			プロセス工学科
			分子工学科
			分子システム工学科
			分子生物学科
			分子生命科学科
			分子素材工学科
		マ	マテリアル科学科
			マテリアル工学科
		ム	無機材料工学科
		ヤ	冶金学科
			冶金工学科
			薬科学科
			薬学科
			薬剤学科
			薬品科学科
		ユ	有機材料工学科
		ヨ	窯業工学科
		リ	林産学科
			林産工学科

別表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目  
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称																														
ア	アモルファス物性工学 安全管理学 安全工学 安全防災工学 移動現象論 移動速度論 医薬品安全性学 医薬分子設計学 医用高分子機能学 衛生工学 衛生薬学 栄養学 エレクトロセラミックス エレクトロニクス材料工学 応化・プロセス工学 回折結晶学 界面工学 界面制御学 界面電子工学 界面物性 科学史 核燃料工学 核燃料サイクル特論 核融合概論 核融合工学概論 化工熱工学 化工熱力学 化工物理学 化工流体工学 化工エネルギー 火薬学 ガラス工学 ガラス材料 ガラス状態論 ガラス物性 環境汚染物質分析学 環境物質工学 感光物性論 岩石学 官能基変換論 機器分析 機能高分子学 機能性高分子材料学 機能性材料工学 機能性触媒工学 機能性有機材料 機能セラミック論 凝固論及び結晶生成 金相学 金属学 金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 ケ	ケ	原子炉材料科学 原子炉燃料 コ	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成触媒 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 触媒学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学 細胞培養学 サ	シ	焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論 水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセス	セ	セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論 ソ	相平衡論 相変態論 素材工学 耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 チ	超高温材料 テ	鉄鋼材料学 鉄鋼表面処理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学 電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 ト	同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミックス 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニ	ニューセラミック特論 ネ	燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 農薬学 ハ	バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵(発酵)学 醗酵(発酵)工学 醗酵(発酵)工業論 醗酵(発酵)生産学 パ	パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料	ハ	反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学 フ	ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学 ハ	平衡論 平衡・反応論 放射線計測学 放射線物性計測学 膜機能工学 マ	マテリアル工学 ミ	水処理実験 水の分子工学特論 ム	無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 メ	免疫薬剤学 モ	木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学 ヤ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学 ユ	有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性 ヨ	窯業工学 窯炉工学 リ	粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レ	レオロジー

## 個人情報の取り扱いについて

(一財) 消防試験研究センター(以下「当センター」という。)は、危険物取扱者及び消防設備士の試験実施と免状作成業務並びに予防技術検定を行っています。

当センターは、試験・検定及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

(1) 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

### ア 個人情報の内容

氏名(申請者、団体代表者)、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

### イ 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、免状交付申請書、受験票への表示、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センター業務の範囲内で行い、個人情報の提供は、本人の同意を得たもののほか団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

(2) 当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

## 書式例 1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

〇〇年 月 日 入学    〇〇科〇〇コース  
 〇〇年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇  
 年 月 日 生

学校教育法第124条に定める専修学校として 認可を受けた日及び文書番号 〇〇 年 月 日 号	
課程の名称	〇〇〇〇専門課程
修業年限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。  
 令和 年 月 日  
 (専修学校の所在地)  
 〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

## 書式例 2 単位修得証明書

〇〇第 号

単位修得証明書

〇〇年 月 日 入学    〇〇学部 〇〇学科  
 〇〇年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇  
 年 月 日 生

化学に関する 科目名	修得 単位	化学に関する 科目名	修得 単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。  
 令和 年 月 日  
 〇〇大学 学長 氏名 〇〇 〇〇印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

## 受験願書 (B面裏) の実務経験証明書の記入例

氏 名	山田 太郎		H5.7.10生
取り扱った 危険物	第4類	品名	軽油、重油
取り扱った 期 間	平成29年4月1日から令和2年12月31日まで (3年9月)		
製造所等の 区 分	・ 製造所    ・ 貯蔵所    (○) 取扱所		
<p>上記のとおり相違ないことを証明します。</p> <p>証明年月日 令和〇年〇〇月〇〇日</p> <p>事業所名 中央石油販売(株)</p> <p>証 明 者 役職 代表取締役社長 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業所印</span>        氏名 消 防 太 郎 (印)        電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇</p>			

(注)

「実務経験」の受験資格で**甲種を受験する方は**、事業所等の証明が必要です。事業所印及び証明者の印の押印を忘れずに受けてください。他の証明書でも証明内容が充足していれば支障ありません。実務経験以外を受験資格を受験される方、乙種・丙種を受験される方は、必要ありません。

- ア 氏名、生年月日を記入してください。
- イ 取扱った危険物の種類、品名、期間を記入してください。
- ウ 該当する製造所等の区分に○を付けてください。
- エ 事業所印及び証明者の印を押印してください。



受験願書 (A面) 記入例

危険物取扱者試験受験願書 (全国共通)

**危**

①

②

\*

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿	都道府県名 <b>新潟</b>	申請日 令和 <b>06</b> 年 <b>04</b> 月 <b>20</b> 日
申請者氏名 <b>トキナ</b> <b>朱鷺</b>	フリガナ <b>シヨウタ</b> <b>翔太</b>	フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左つめて記入してください
⑤ 生年日 <b>大</b> <sup>1</sup> <b>昭</b> <sup>2</sup> <b>平</b> <sup>3</sup> <b>令</b> <sup>4</sup> <b>06</b> 年 <b>06</b> 月 <b>03</b> 日生	本籍 <b>新潟</b>	都道府県 <b>新潟</b> 本籍コード <b>15</b>
⑥ 郵便番号 <b>950-0965</b> 必ず記入してください	⑦ 自宅電話番号 <b>090-1234-5678</b> 又は携帯電話番号	
住所 <b>新潟県新潟市中央区新光町</b> <b>10-3</b> <b>マルマルアパート202</b>	⑧ 勤務先名又は学校名 <b>関新石油販売(株)</b> 連絡先電話番号(携帯電話も可) <b>025-285-7774</b> 内線( <b>119</b> )	

⑨

試験日 令和 **06** 年 **06** 月 **01** 日

メールアドレス(任意)  ⑮ \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

⑩

試験種類  甲  乙  丙 種 第 **4** 類

⑯ ⑰ ⑱

⑪

受験地 **新潟市**

他の都道府県での受験申請状況

⑫

甲種受験資格

都道府県コード 試験種類 試験日

⑬

科目免除 火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を  受ける  受けない

乙種危険物取扱者免状の交付を  受けている  受けていない

5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に  該当する  該当しない

該当する職業等に1つだけ○を記入してください

<input checked="" type="checkbox"/> ① 高校生	<input type="checkbox"/> ⑦ 危険物を扱うその他の事業
<input type="checkbox"/> ② ①以外の学生、教育・研究機関	<input type="checkbox"/> ⑧ 公務員
<input checked="" type="checkbox"/> ③ ガソリンスタンド	<input type="checkbox"/> ⑨ 警備業
<input type="checkbox"/> ④ 化学工業	<input type="checkbox"/> ⑩ ビル管理業
<input type="checkbox"/> ⑤ 危険物の卸売業、小売業	<input type="checkbox"/> ⑪ その他
<input type="checkbox"/> ⑥ 危険物の運送業	

⑭

同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること  甲  乙  丙 種 第 \_\_\_\_\_ 類

⑱

免状取得の有無について記入してください  有  無

⑳ 免状番号 **115501001111**

取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	元号コード (昭和:3 平成:4 令和:5)	免状交付年月日	交付番号	※入力番号	交付知事	コード
甲		年 月 日				
乙1		年 月 日				
乙2		年 月 日				
乙3		年 月 日				
乙4		年 月 日				
乙5		年 月 日				
乙6		年 月 日				
丙	<b>5</b>	<b>01</b> 年 <b>11</b> 月 <b>13</b> 日	<b>02525</b>		<b>新潟</b>	<b>15</b>

(記入上の注意)

- ※印は、記入しないでください
- 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください
- 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください
- 枠は該当するものに○を記入してください
- 免状番号は、免状写真下に記載されている番号です

※団体コード    ※受付機関コード   ※分類コード    ※

(A面) 試験センター発行

## 受験願書の記入要領

- ・ 受験願書は本人が記入してください。
- ・ A面及びB面があり、**複写式**となっています。
- ・ 黒色のボールペンで、**かい書**で正しく書いてください。
- ・ 書き損じた場合は、横2本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いてください（訂正印は不要）。
- ・ 年月日を記入するすべての欄は、1桁の数字の場合、0を前に付けてください。

### A面

① 都道府県名欄には「新潟」と記入してください。
② 申請日を記入してください。
③ 左づめで記入してください。また、カナ氏名の濁点・半濁点は、1マスを使用してください。
④ <b>住民基本台帳に記載されている字</b> を左づめで記入してください。外国籍の方は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。
⑤ 該当する元号に○を付け、生年月日を記入してください。 本籍の都道府県名を記入してください。外国籍の方は、「外国籍」と記入してください。 本籍コードは、受験願書B面裏の都道府県等コードを必ず記入してください。
⑥ 郵便番号は、正確に記入し、住所は現に居住している所を都道府県名から記入してください。また、濁点・半濁点が入る場合には、1マスに入れてください。 マンション、アパートは部屋番号も必ず記入してください。
⑦ 電話番号の局番等の間は1マスを使用して、「-」でつなげてください。
⑧ 勤務先・学校名等を記入し、連絡先電話番号は職場又は携帯等で <b>平日の昼間連絡の取れる電話番号</b> を記入してください。
⑨ 受験する <b>試験日</b> を記入してください。 <b>受付締切後の試験日・試験の種類・受験地の変更は、認めません。</b>
⑩ 受験する試験の <b>種類</b> に○を付けてください。（乙種の受験者は、受験する危険物の <b>類</b> を記入してください。）
⑪ <b>受験地</b> は1ページの1.の表を確認し、表に記載してある <b>都市名</b> を正確に記入してください。 （例○○市）（特に新潟市の場合は必ず「市」まで記入してください。） なお、 <b>受験する会場は当支部で指定し、試験日の10日前頃までに郵送する受験票で正式にお知らせします。</b>
⑫ 甲種の受験者は、受験資格を12ページ、「21. 甲種危険物取扱者試験の受験資格」の表に記載された「願書資格欄記入略称」を記入するとともに、証明書類を受験願書B面裏の各種証明書等貼付欄にのり付けしてください。乙種、丙種の受験者は記入する必要ありません。
⑬ 乙種第1類又は第5類の受験者で、火薬類の免状を有する方は、該当する事項に○を付けてください。 なお、「受ける」に○を付けた場合には、火薬類免状のコピーを、受験願書B面裏の各種証明書等貼付欄にのり付けしてください。 既に乙種危険物取扱者免状の交付を受けている受験者は○を付け、乙種免状のコピーを受験願書B面裏の既得危険物取扱者免状貼付欄にのり付けしてください。
⑭ 複数の類を同時に受験する場合は、この受験願書以外の受験願書の受験種類を記入してください。
⑮ 書類等に不備があった場合の連絡手段として郵便以外で電話等の連絡手段がない場合に限り、止むを得ずメールによる連絡をする必要がありますのでメールアドレスを記入してください（携帯電話アドレス可）。 なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、当支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定（ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp）を行ってください。
⑯ 3か月以内に新潟県以外で受験の申請又は受験した場合は、都道府県コード、試験種類、試験日を記入してください。
⑰ 現在の職業等で、該当する箇所に○を付けてください。
⑱ 危険物取扱者免状の有無について、○を付けてください。
⑲ 危険物取扱者免状の交付を既に受けている方は、該当する種類の元号コード（昭和3：平成4：令和5）、免状交付年月日、交付番号、交付知事、都道府県コードを記入してください。なお、免状のコピー（表面と裏面）を受験願書B面裏にのり付けしてください。
⑳ 免状の写真下に記載されている12桁の番号を記入してください。

# B面 (A面を記入すると複写されるため、記入は不要です。)

様式第25 (第57条関係)

## 危険物取扱者試験受験願書

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿	都道府県名	新潟	申請日	06年04月20日
申請者氏名	フリガナ フリガナ 朱鷺	シヨウタ 翔太		
生年月日	大・昭・令 06年06月03日生	本籍	新潟	都道府県
郵便番号	950-0965	自宅電話番号 又は携帯電話番号	090-1234-5678	
住所	新潟県新潟市中央区新光町 10-3 マルマルアパート202		勤務先等連絡先	関新石油販売(株) 連絡先電話番号 025-295-7774 内線(119)

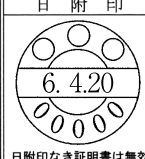
試験日	06年06月01日	※1
試験種類	甲②丙種 第4類	※2 受験地
受験地	新潟市	※3 資格
甲種受験資格		※4 免除
科目免除	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける) 乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている) 5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する)	※5 複数 ※6 併願

**振替払込受付証明書 (お客さま用)**  
(郵便局・ゆうちょ銀行へご依頼人)  
 この受付証明書に日附印を押し、依頼人に交付してください。

払込金額	千 百 十 万 千 百 十 円	¥4600
加入者名	一般財団法人 消防試験研究センター	
口座番号	00170-3-136220	

※ご依頼人住所  
 新潟県新潟市中央区新光町  
 10-3 マルマルアパート202  
 氏名 朱鷺翔太  
 (電話 090-1234-5678)  
 (郵便局へ)⇒日附印を押し

日附印

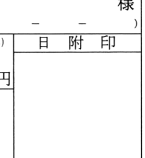


日附印なき証明書は無効 (払込人・消防試験研究センター)  
(承認番号東証第2015号)

備考

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 本籍の欄は、本籍地の属する都道府県名を記入すること。ただし、外国籍の者は、「外国籍」と記入すること。
- ※印の欄は、記入しないこと。

※郵便局窓口で  
 手数料を払い込んだ後、  
 この部分を切り離して  
 願書に貼ってください

郵便局・ゆうちょ銀行で回収されます	本人控え	受験願書に貼付する部分																																	
<p>00 東京 払込取扱票</p> <p>口 座 記 号 番 号</p> <table border="1"> <tr> <td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>7</td><td>0</td><td>3</td> <td>1</td><td>3</td><td>6</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td> </tr> </table> <p>金額 千 百 十 万 千 百 十 円</p> <p>料 金 備 考</p> <p>加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター</p> <p>※ (郵便番号 - )</p> <p>住所</p> <p>氏名</p> <p>(電話 - - )</p> <p>郵便局 (ゆうちょ銀行) の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書 (お客さま用)」に日附印の押印をうけてください。</p> <p>願書には、必ず日附印がある「振替払込受付証明書 (お客さま用)」を貼ってください。</p> <p>金額の訂正は無効です。</p> <p>ご依頼人欄に、住所・氏名をご記入ください。(承認番号東第54476号)                  これより下部には何も記入しないでください。</p> <p>日附印</p>	0	0	1	7	0	3	1	3	6	2	2	0	<p>振替払込請求書兼受領証</p> <p>口 座 記 号 番 号</p> <table border="1"> <tr> <td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>7</td><td>0</td><td>3</td> <td>1</td><td>3</td><td>6</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td> </tr> </table> <p>金額 千 百 十 万 千 百 十 円</p> <p>加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター</p> <p>氏名</p> <p>依頼人 (電話 - - )</p> <p>料 金 備 考</p> <p>日附印</p> <p>この受領証は、大切に保管してください。</p>	0	0	1	7	0	3	1	3	6	2	2	0	<p><b>振替払込受付証明書 (お客さま用)</b>  <small>(郵便局・ゆうちょ銀行へご依頼人)</small>          この受付証明書に日附印を押し、依頼人に交付してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>払込金額</td> <td>千 百 十 万 千 百 十 円</td> <td>¥4600</td> </tr> <tr> <td>加入者名</td> <td colspan="2">一般財団法人 消防試験研究センター</td> </tr> <tr> <td>口座番号</td> <td colspan="2">00170-3-136220</td> </tr> </table> <p>※ご依頼人住所          氏名          (電話 - - )          (郵便局へ)⇒日附印を押し</p> <p>日附印</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>日附印なき証明書は無効 (払込人・消防試験研究センター)  <small>(承認番号東証第2015号)</small></p>	払込金額	千 百 十 万 千 百 十 円	¥4600	加入者名	一般財団法人 消防試験研究センター		口座番号	00170-3-136220	
0	0	1	7	0	3	1	3	6	2	2	0																								
0	0	1	7	0	3	1	3	6	2	2	0																								
払込金額	千 百 十 万 千 百 十 円	¥4600																																	
加入者名	一般財団法人 消防試験研究センター																																		
口座番号	00170-3-136220																																		

**試験手数料払込用紙について ※ATMは使用しないでください。**

**試験手数料 甲種6,600円、乙種4,600円、丙種：3,700円**

お手数でも当センター指定の払込用紙を使って、試験手数料を必ず**郵便局の窓口**で払い込んでください。(ATMは使用しないでください。なお、払込みには所定の払込手数料が必要となります。)

郵便局の受付日附印を確認し、「振替払込受付証明書(お客さま用)」を全面のり付けして貼付してください。

**注：本人用の「振替払込請求書兼受領証」(青色)を貼付しても受付できません。**また、「振替払込受付証明書(お客さま用)」を紛失等し貼付できない場合でも受付できませんので特に注意してください。(紛失等の場合は再度の払い込みが必要となります。)**「振替払込請求書兼受領証」は、受験票が届くまで大切に保管してください。**

※乙種の複数種類を受験される方又は会社等で2人以上の受験者がいる場合は、一括して払い込んでかまいません。

その場合は、「振替払込受付証明書」は、一番若い類又は最初の受験者の願書にのり付けし、一括送付してください。

郵便局(窓口)が押印した日附印を確認してください。  
※日附印のないものは無効です。

赤ワクで囲まれた振替払込受付証明書(お客さま用)を願書にしっかりと貼ってください。  
※当センター指定の払込用紙を使用してください。

(注) 一旦払い込みされた手数料はお返しできません。

受験願書作成のチェックをしてください。(書面申請用)	
チェック欄	チ エ ッ ク 項 目
	「振替払込受付証明書(お客さま用)」を貼りましたか。
	受験資格又は科目免除を受けるための、資格を証明する書類等を添付しましたか。
	既に危険物取扱者免状の交付を受けている方は、その免状のコピーを添付しましたか。
	試験日、試験種類、受験地は記入しましたか。